

竹原中学校第2学年保健体育科学習指導案

■外部講師を活用した授業 日時:令和5年10月13日(金) 授業者:谷口貴亮

- Ⅰ 題材名 健康な生活と疾病の予防② 3.がんの予防
- 2 本時のねらい

がんの発生の仕組みとその要因、現状、進行の仕方、進行度と生存率の関係等について学ぶことを通して、がんは生涯のうち二人に 一人がかかると推計されること、生活習慣と関係が深いこと、検診による早期発見が重要であることについて理解し、がんにかかるリス クを軽減し健康を保持増進する方法を考えることができる。(知識) (思考力、判断力、表現力)

3 本時の展開		
過程	学習内容 「・」予想される生徒の思考	◇教師の指導 ※留意事項
導入 5分	 ○講師紹介 課題づくり 事前アンケート結果や著名人のがん経験者のスライドを見て、感じたことを交流する。 ・怖い病気だと思っているのは私だけではないな。 ・がんになったからといって、必ず命が絶たれるわけではないんだ。 ・怖いからこそ詳しく知っておきたいな。 ・池江璃花子選手はがんを克服したんだな。 がんについて正しく理解し、がんを予防するためにできることを考える。 	 ◇グラフ化したアンケート結果を具体的な数値で示すことで、がんに対する意識を共有できるようにする。 ◇著名人のがん経験者のスライドを見ることで、「詳しく知りたい」「生存するためにできることがあれば知りたい」等、目的をもって主体的に追及できるようにする。
展開 35分	2 がんの発生の仕方を知ろう(5分) [1] ①がんとは正常な細胞の遺伝子が傷つき、異常な細胞である「がん細胞」が増殖する疾病である。 ②細胞が分裂する全ての臓器にがんができる可能性がある。 3 がんの要因は何だろう(5分) [1] 【全体交流】・たばこ ・お酒 ・肥満 ・運動不足 ・塩分のとり過ぎ・不規則な生活習慣 ・遺伝 ・年齢 4 がんについて専門的な立場から話を聴く(10分) [2] ①がんになる人は2人に1人である。 ②50歳前後からがんになる人が増えている。 ③がんの治療法には「手術療法」「放射線療法」「抗がん剤などの化学療法」の3つがあることを押さえる。 ④治療法をきめるとき大切なこと「インフォームド・コンセント」 5 生活を振り返ってがんにならないために自分にできることは、何だろう(15分) ○ワークシートに記入後、交流する【グループ交流】→【全体交流】 れ間巡視 [1] ・将来たばこを吸わない・お酒を飲みすぎない・規則正しい生活をする→具体的に・適度に運動をする・検査を受ける がんには様々な種類があり、誰でもかかる可能性がある。中学生でも望ましい生活習慣を身につけていくことで、がんになる可能性を減らせる。	◇視覚的に分かりやすいように、スライドを用いて説明する。 ◇細菌・ウイルスの具体を浮田先生から説明 ※要因の一つである「細菌・ウイルス」とは、インフルエンザや新型コロナウイルス感染とは 異なることを伝える。 ※「小児がん」など、生活習慣とは関連のないなのや、原因が不明なものもあるため、誤解がないようにする。 ◇がんは様々な要因が考えられる。不明もある。私達に関係深いのは生活習慣。がんは誰でもなり得る病気であることを押さえる。 ◇自覚症状が出てからがんは加速度的に大きく知治療が重要であることを押さえる。 ◇インフォームド・コンセントについて触れる(第2時につなげる) ◇自分の事として捉え、生活を振り返ることができるように促す。 ◇グループの意見をホワイトボードにまとめて交流する。 ※生活習慣、定期的な健康診断、予防の具体を明示する
	6振り返り(学びをつなげる)(I O分) □□ ○ワークシートに記入する。数人発表する。	◇家庭生活を見つめ、「がんの予防」についてさらに詳 しく知りたくなったことや疑問に思ったことをまと

まと 8 · O 分

・がんは細胞の異常増殖によって、生涯のうち2人に1人がかかる 可能性があり、予防や治療には、適切な生活習慣やがん検診など が効果的だと分かった。

☞具体的に、自分や家族ががんになりにくくするためにできること は何かな?もっと詳しく知りたい。

☞早期発見・早期治療が大切なんだな。私の家族は健康診断やがん 検診を受けているかな?

め、次時へ意識をつなぐ。

【評価規準】

がんの現状や、がん発生原因、経過などについて理解 している。【知識】

がんにかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法 を考え、他者と話し合ったり、ノートに記述したりしてい る。【思考・判断・表現】